



伊波 寿々歌 さん

4月1日から、沖縄県名護市職員の伊波 寿々歌さんが、商工観光課に勤務しています。これは、友好都市の名護市と相互に職員を派遣し、実務研修を行うことを目的としたものです。派遣期間は1年で、伊波さんは30年3月末まで配属される予定です。

名護市と相互に職員を派遣

地域おこし協力隊 辞令交付

それぞれの目標実現に向け、継続し活動

29年度市地域おこし協力隊員辞令交付式が4月3日、市役所で行われました。

辞令の交付を受けた4人は昨年度からの継続で、それぞれの目標に向かって引き続き活動していきます。

■活動計画の主な内容

▶菊池光洋さん

教育旅行の受け入れに関する活動、ふるさと納税の返礼品の掘り起こしなど

▶玉木陽子さん

コミュニティカフェのオープンと地場産品を

生かしたメニューの開発など

▶阿部文子さん

馬搬材と地熱エネルギーを利用した八幡平発のライフスタイルモデルの開発など

▶大越裕子さん

山ブドウを生かした特産品開発と後継者対策など



左から、菊池光洋さん、玉木陽子さん、田村正彦市長、阿部文子さん、大越裕子さん

「今後情報交換や話し合いを続けながら、当社のネットワークを活用して発展の支援をしていきたい」と語り、締結後は出席者全員で前森山のむヨーグルトで乾杯し、契約締結を祝いました。

今回の契約は岩手銀行と市が28年1月に締結した地方創生連携協定の取り組みの一環でもあります。



握手で今後の連携を誓いました。左から、稲垣いわぎん事業創造キャピタル社長、寺地前森山集団農場社長

いわぎん農業法人ファンド投資契約締結第1号前森山集団農場

(株)前森山集団農場(寺地輝美社長)といわぎん事業創造キャピタル(株)稲垣秀悦(社長)は3月28日、市役所でいわぎん農業法人ファンド投資契約を締結しました。

いわぎん事業創造キャピタル(株)は、(株)岩手銀行と(株)日本政策金融公庫から出資を受け、規模拡大などに意欲的に取り組む農業法人などに投資するファンド「いわぎん農業法人投資事業有限責任組合」を平成28年2月に設立。ファンドの総額は5億円で、日本公庫が出資する投資組合の設立は東北地方初となり、その第1号の投資先として前森山集団農場と出資額4千万円の投資契約を締結しました。

春の八幡平に壮観な雪壁

八幡平アスピーテライン・樹海ライン開通祝う

アスピーテライン (4月22日)



八幡平アスピーテラインの開通式が4月15日に、八幡平樹海ラインの開通式が22日にそれぞれ行われ、春の八幡平が楽しめる観光シーズンの幕開けを祝いました。

両開通式では、関係者らによるテープカットが行われたほか、温泉半額入浴券や八幡平山葡萄煎餅の振る舞いなどが行われました。今年の雪の回廊は、アスピーテラインで最大7m、樹海ラインで最大7.5mの高さで、暖冬だった昨年に比べ約2m高くなっています。



樹海ライン開通式テープカット(4月22日)



樹海ライン高さ最大地点(4月22日)

漆工技術を習得し伝統を受け継ぐ 安代漆工技術研修センター入所式

市安代漆工技術研修センターの入所式が4月7日、安代総合支所で行われました。



田村市長から激励を受ける高橋沙紀さん(左)と佐々木春奈さん

一関市出身の高橋沙紀さん(27)が基礎課程(2年間)の研修生として出席。高橋さんは、同市の秀衡塗を扱う工房で5年間勤務し、漆器づくりの最終工程となる加飾を担当しました。また、基礎課程を修了した安比塗漆器工房で専攻課程(1年間)に進む、花巻市出身の佐々木春奈さん(22)も出席。高橋さんは「自分で一貫した漆器を制作したい」、佐々木さんは「自信を持って漆器の良さを伝えられるよう技術や販売、経営の知識を学びたい」と、将来の夢を語りました。

祝100歳 あっばれこ長寿 立柳 ミエ さん 大正6年4月15日生まれ =山道=



家族とともに長寿を喜ぶ 立柳ミエさん(中央)

立柳ミエさんの長寿祝い金贈呈式と誕生会が4月15日、特別養護老人ホーム富士見荘で行われ、家族や同施設の利用者など約30人が参加し、長寿を祝いました。

農業を営みながら7人の子どもを育て上げたミエさん。現在は孫12人、ひ孫6人、やしゃご1人と大勢の家族に恵まれています。長女の立柳ミツエさんは「好き嫌いをせずに何でも食べることが長寿の秘けつ。特に肉は好きでよく食べてましたよ」とミエさんのことを話してくれました。